

snapshot

生活者スナップショット

2023.10.3 Vol.3

位置情報データに見る
「コロナによる変化」の定着

株式会社インテージ
生活者研究センター センター長
田中 宏昌

□ 新型コロナ新規感染者数推移(全国)と第1～9波	3
□ 【長期推移】晴れない不安：感染不安, 行動不安, お金の不安など	4
□ リモートワークの利用率推移(2020.7～2023.9)	6
□ 平日《昼間/夜》のビジネス街人口推移 (2020.1～2023.8)	7
□ 東京丸ノ内内の出勤人数(平日)と新橋の帰宅人数(平日) の時間帯変化	9
□ 曜日別の朝の人口推移(東京 品川)	11

◆ディスクレイマー

本資料は、貴社内での議論・検討を目的に作成されたものであり、弊社がその実現性を保証するものではありません。

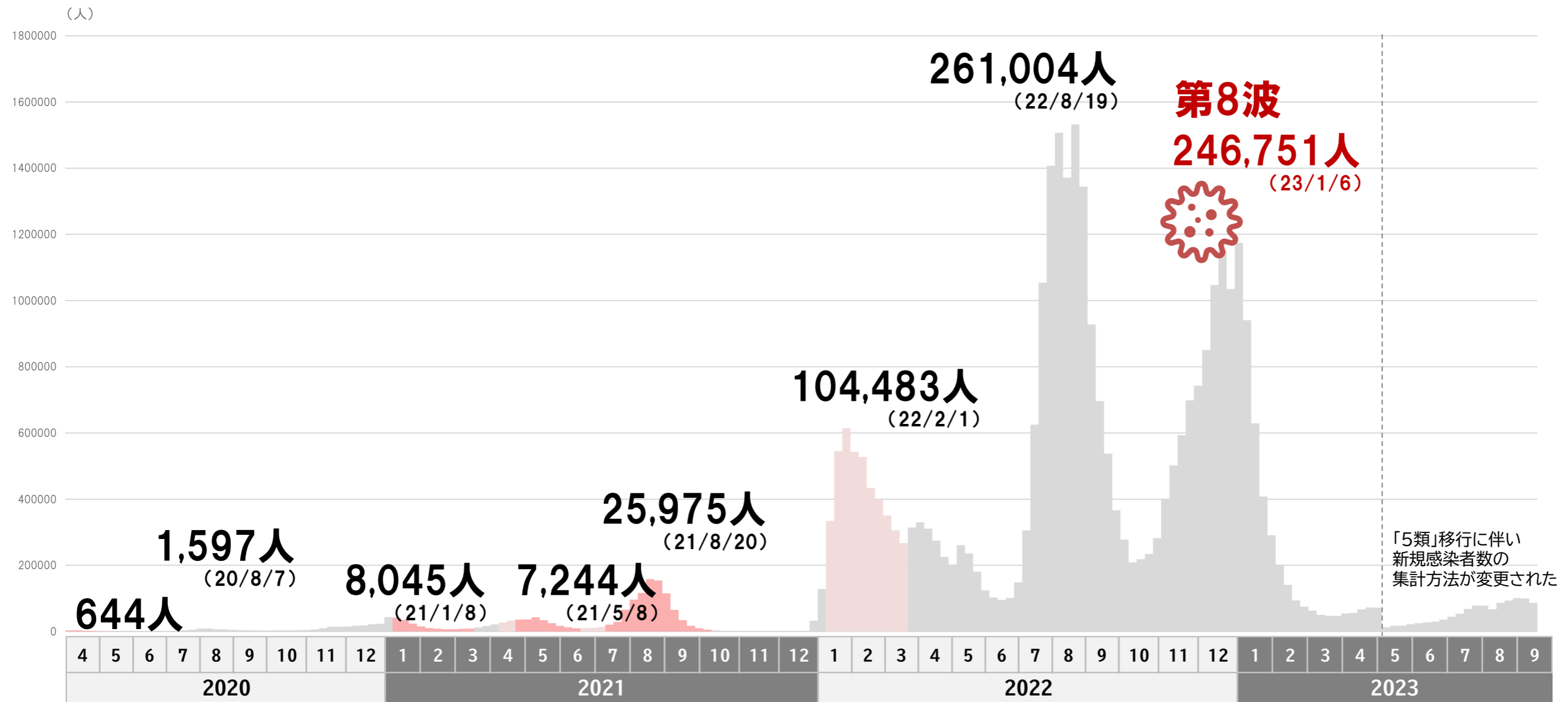
本資料は、貴社提供資料、弊社の内部情報、および、一般情報他、弊社が信頼できると判断した情報をもとに作成されておりますが、弊社はその内容についての真実性・正確性および完全性を保証するものではありません。また、本資料には、弊社の主観的意見が含まれることがあります。

本資料は、貴社内での使用のみに限り作成しておりますので、外部への公表資料として掲載許可を取得していない情報を含みます。

弊社は、その内容の用途について何ら責任を負うものではありません。



新型コロナ新規感染者数推移(全国)と第1~9波





《緊急事態宣言(東京)》
 【1回目】2020/4/7-5/25 【2回目】2021/1/8-3/21 【3回目】2021/4/25-6/20 【4回目】2021/7/12-9/30


《まん延防止等重点措置(東京)》
 【1回目】2021/4/12-4/24 【2回目】2021/6/21-7/11 【3回目】2022/1/21-3/21

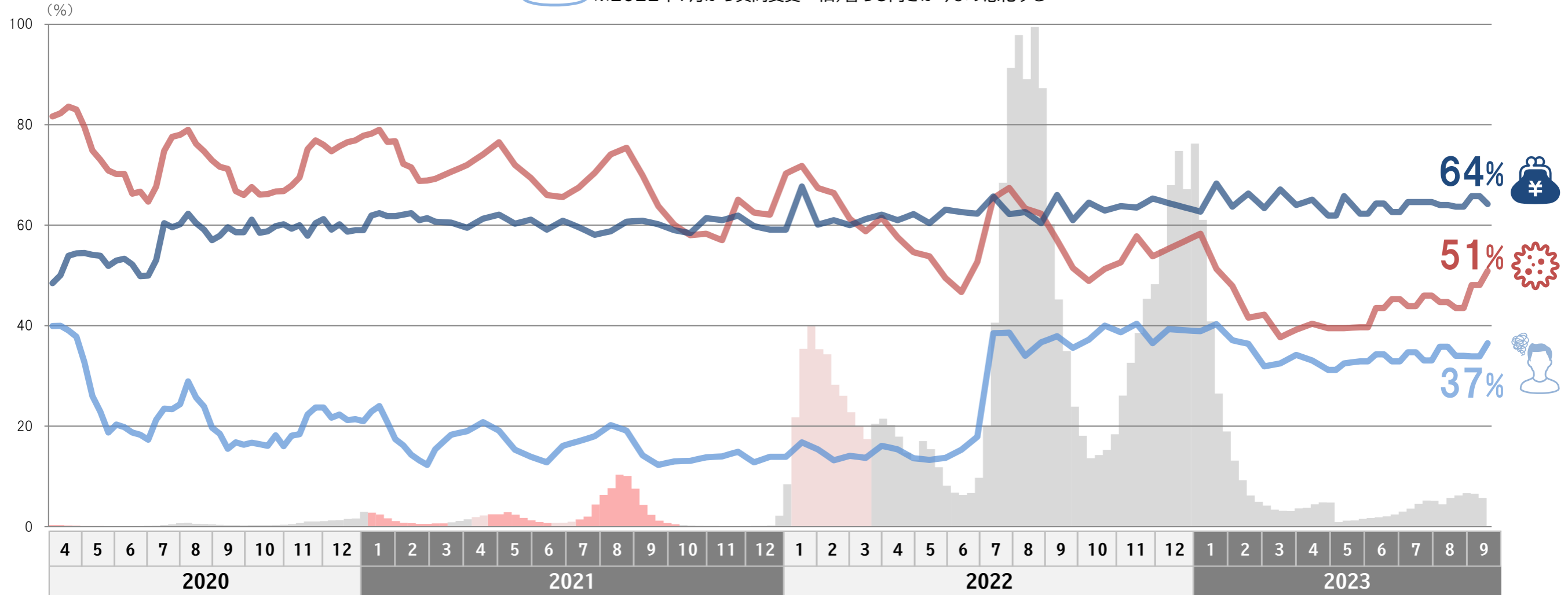
【出典】厚生労働省 新型コロナウイルス感染症について(週次データにまとめなおし)
 感染法分類が「5類」に移行したことにより、2023/5/8 でデータ更新は終了
 2023/5/9以降は「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)定点当たり報告数・都道府県別」を参照

【長期推移】晴れない不安：感染拡大，暮らしについて

 **新型コロナ感染拡大**
(不安がある)

 **家庭の暮らし向きが回復していく**
(そう思わない)
※2022年7月から質問変更：旧)暮らし向きが今より悪化する

 **節約意識**
(家計の節約を心がけている)



《緊急事態宣言(東京)》

【1回目】2020/4/7-5/25

【2回目】2021/1/8-3/21

【3回目】2021/4/25-6/20

【4回目】2021/7/12-9/30

《まん延防止等重点措置(東京)》

【1回目】2021/4/12-4/24

【2回目】2021/6/21-7/11

【3回目】2022/1/21-3/21

【デイリー調査:2020年3月~6月】調査地域:全国

対象者条件:15-79歳の男女

標本サイズ:n=500s(1日あたり)

調査実施時期:2020年3月25日(水)~2020年6月30日(火)

【ウィークリー調査:2020年7月~】調査地域:全国

対象者条件:15-79歳の男女


標本サイズ:n=3,000s(1回あたり)


調査実施時期:2020年7月~現在も継続中


第9波 & インフル流行中. 感染不安は再上昇. 暮らし向き回復への期待もネガシフト.



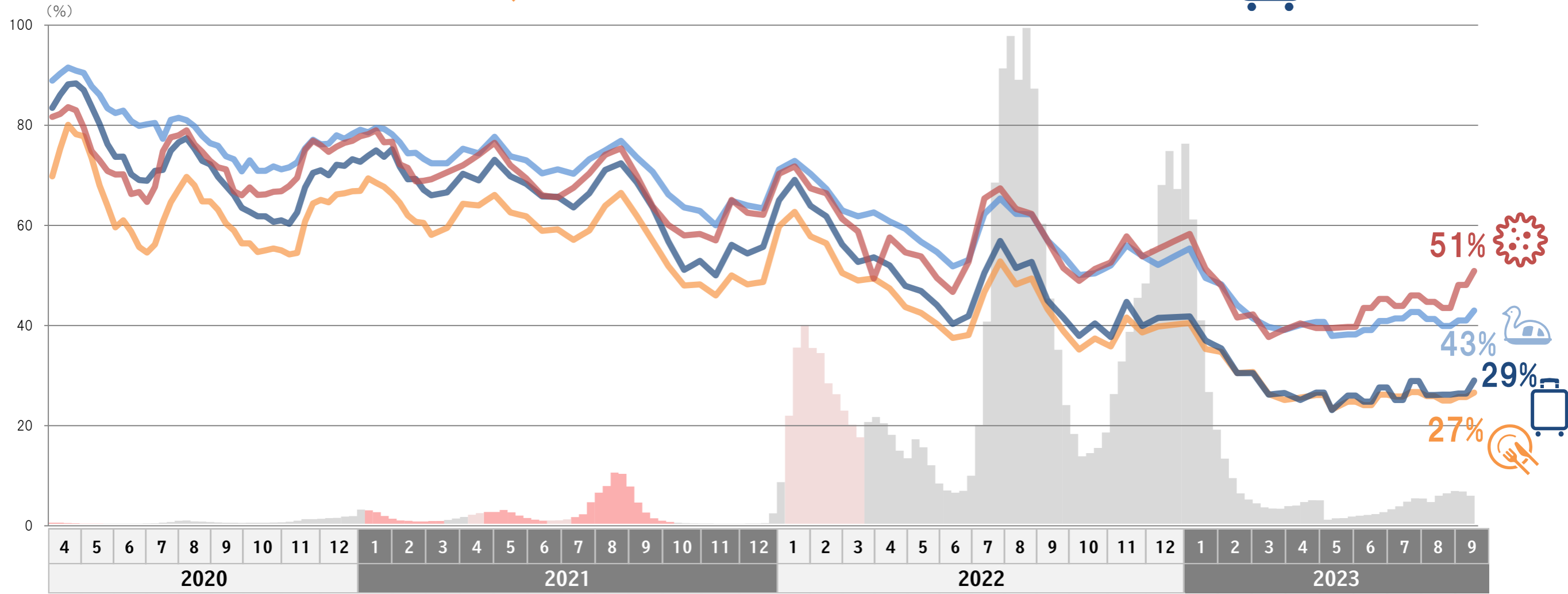
【長期推移】晴れない不安：感染拡大，外出や行動について

 **新型コロナ感染拡大**
(不安がある)

 **飲食店での食事**
(不安がある)

 **テーマパークや繁華街・
人が集まる場所(不安がある)**

 **国内旅行**
(不安がある)



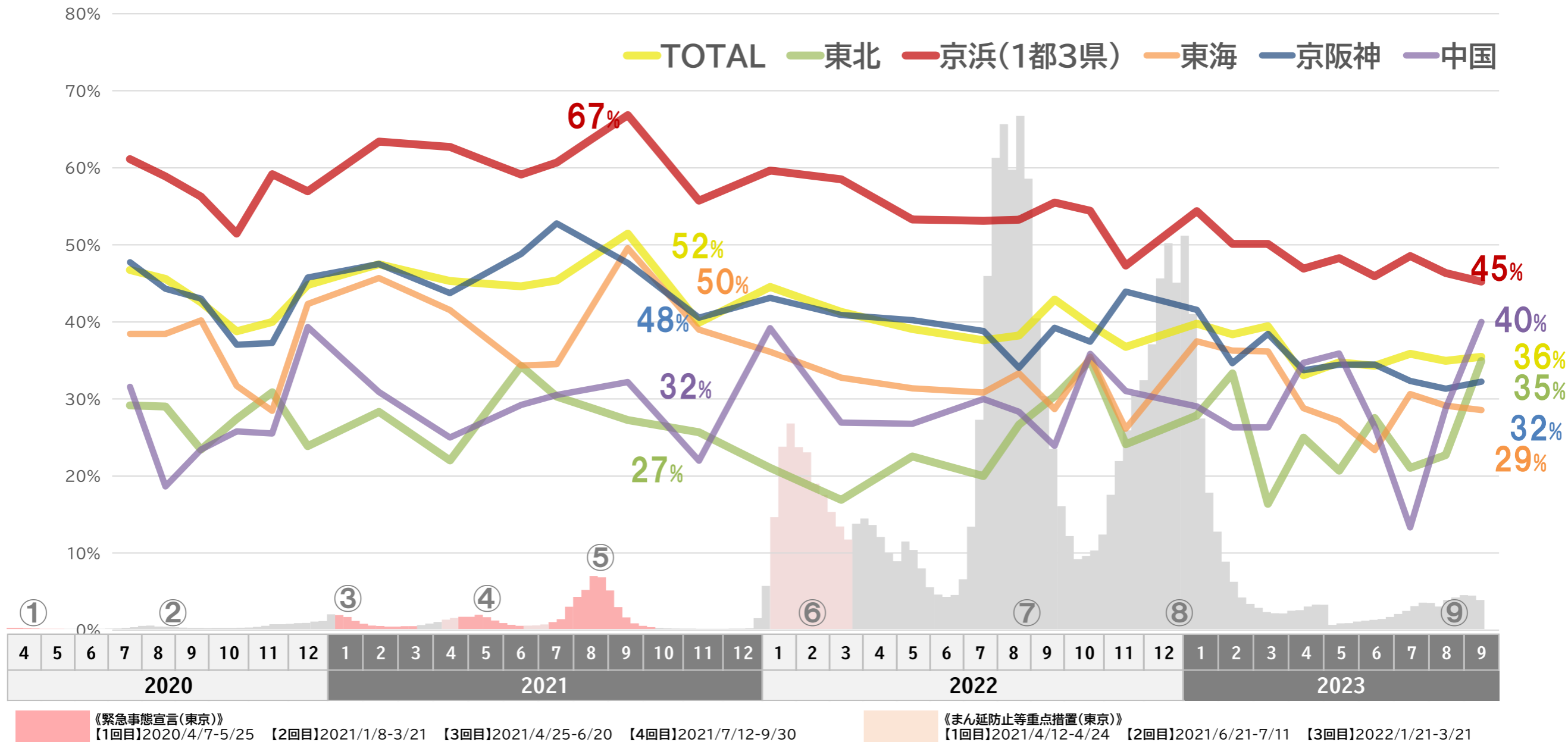
■ 《緊急事態宣言(東京)》
 【1回目】2020/4/7-5/25 【2回目】2021/1/8-3/21 【3回目】2021/4/25-6/20 【4回目】2021/7/12-9/30
■ 《まん延防止等重点措置(東京)》
 【1回目】2021/4/12-4/24 【2回目】2021/6/21-7/11 【3回目】2022/1/21-3/21

【デイリー調査:2020年3月~6月】 調査地域:全国 対象者条件:15-79歳の男女 標本サイズ:n=500s(1日あたり) 調査実施時期:2020年3月25日(水)~2020年6月30日(火)
 【ウィークリー調査:2020年7月~】 調査地域:全国 対象者条件:15-79歳の男女 標本サイズ:n=3,000s(1回あたり) 調査実施時期:2020年7月~現在も継続中

感染不安に呼応して繁華街への外出を筆頭に国内旅行，外食ともに不安は増加へ。



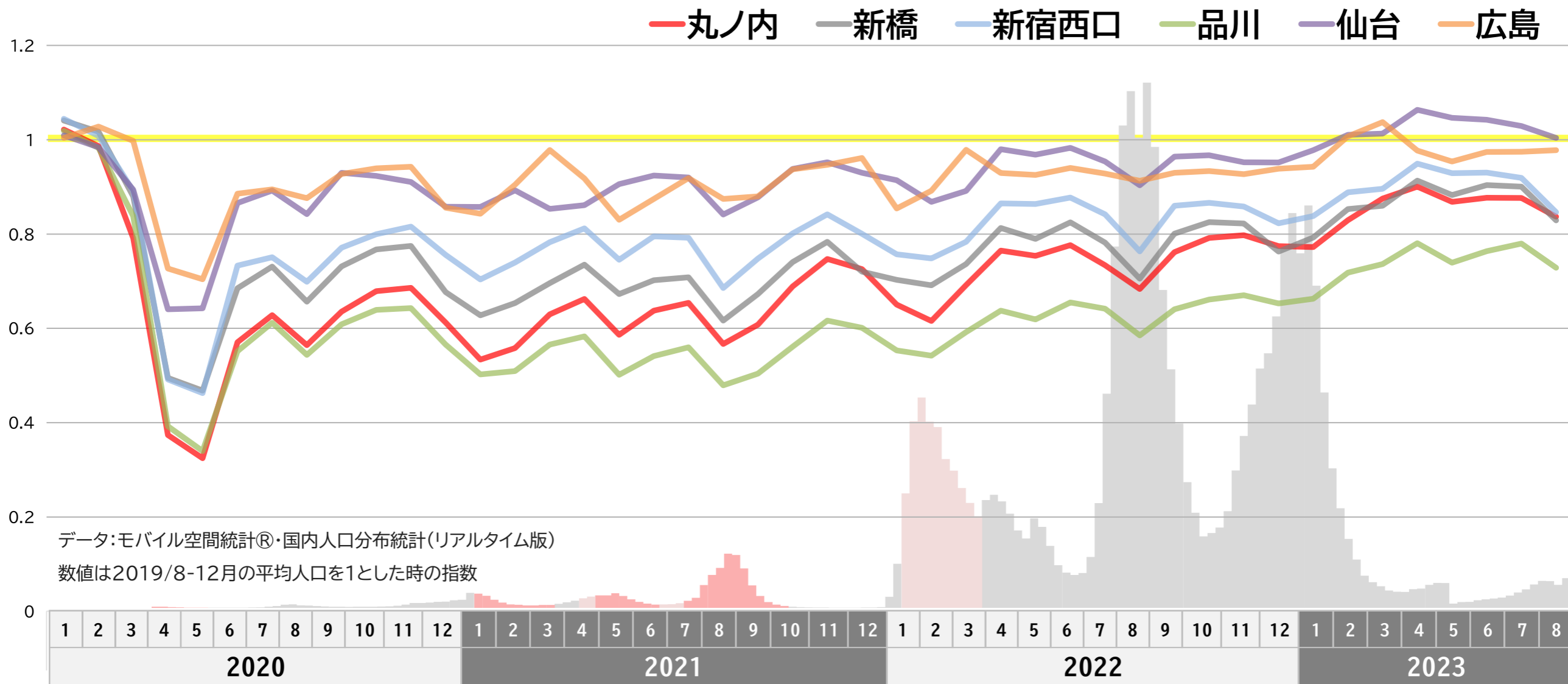
リモートワークの利用率推移(2020.7~2023.9)



第5波時がピーク。ワクチン接種を機にリモートワークは減少しつつ定着へ。



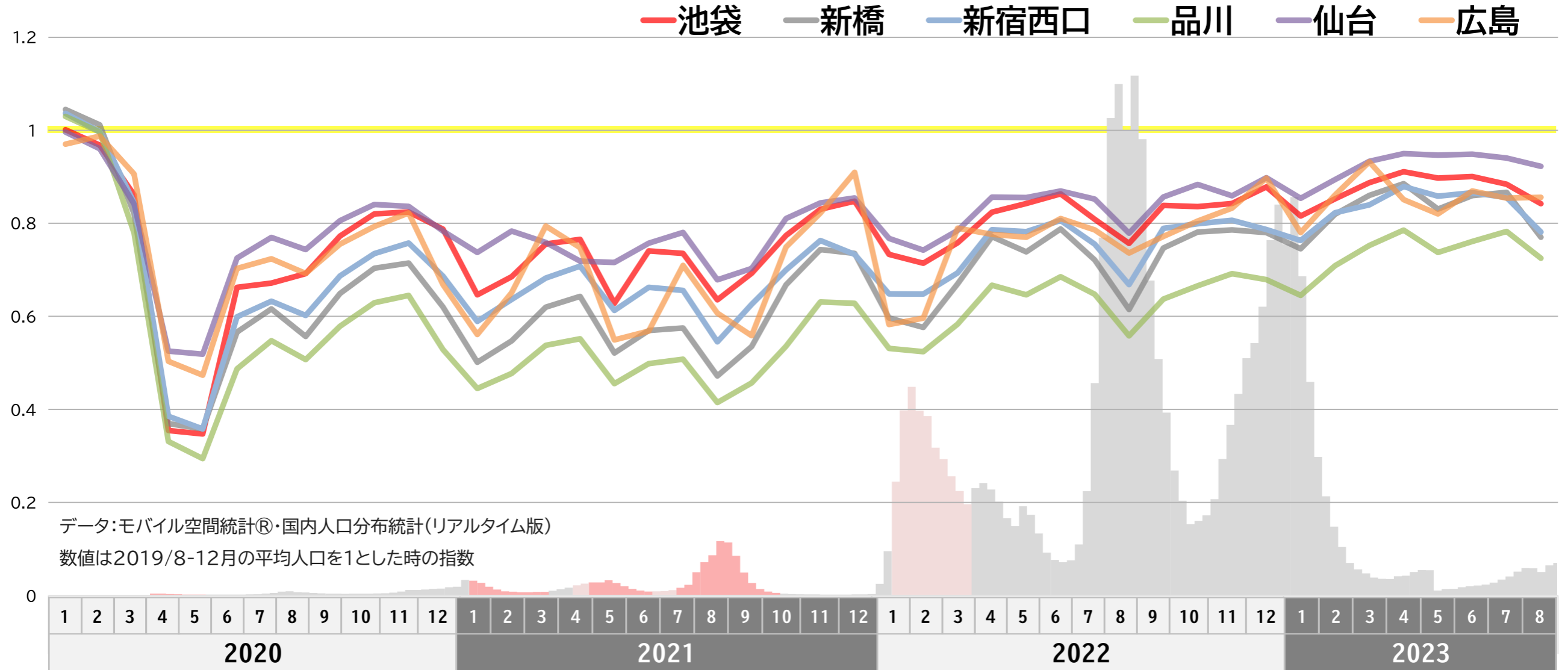
平日《昼間》のビジネス街人口推移（2020.1～2023.8）



リモートワークの定着により首都圏の人出は現在も戻り切らず。地方都市は23年から回復。



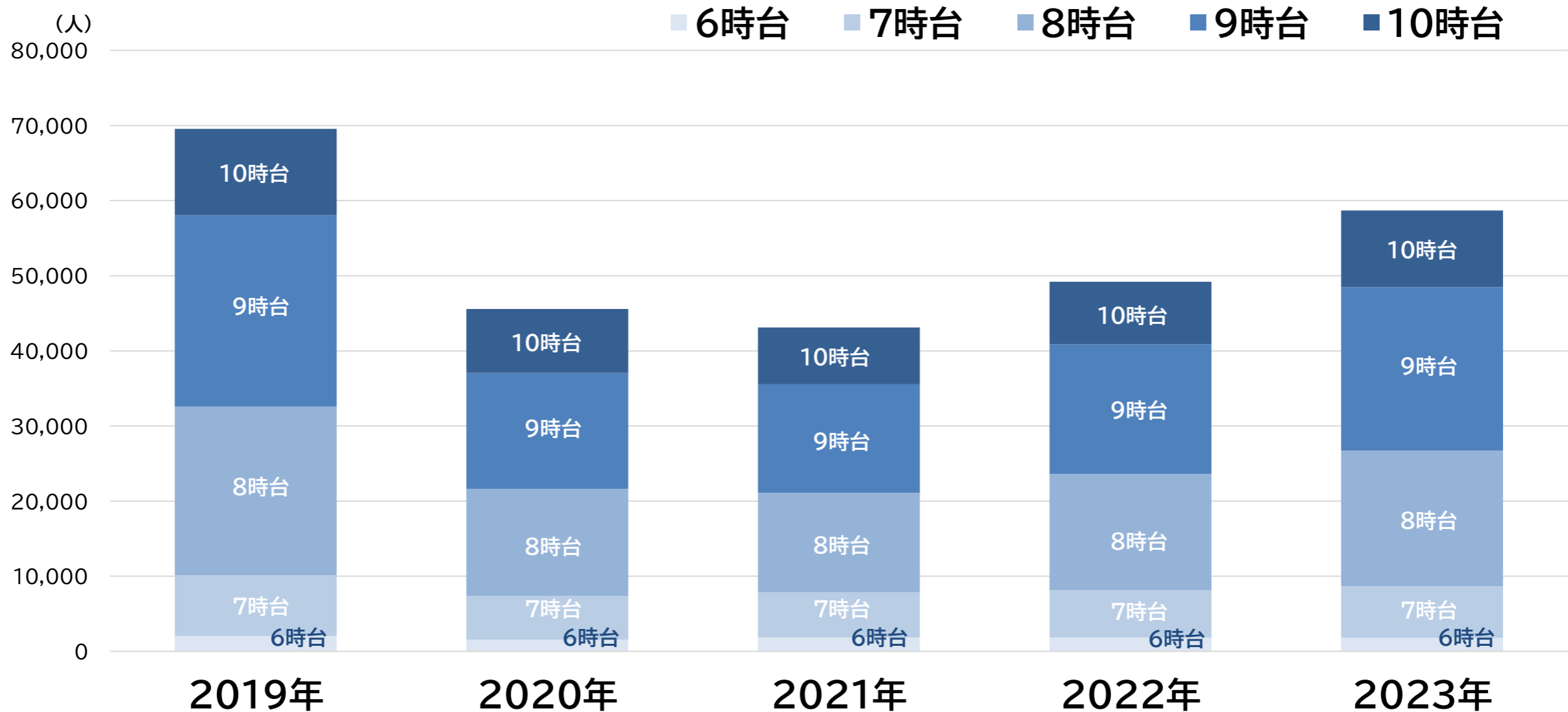
平日《夜》のビジネス街周辺人口推移（2020.1～2023.8）



平日・夜の外出については地方都市も戻り切らず。



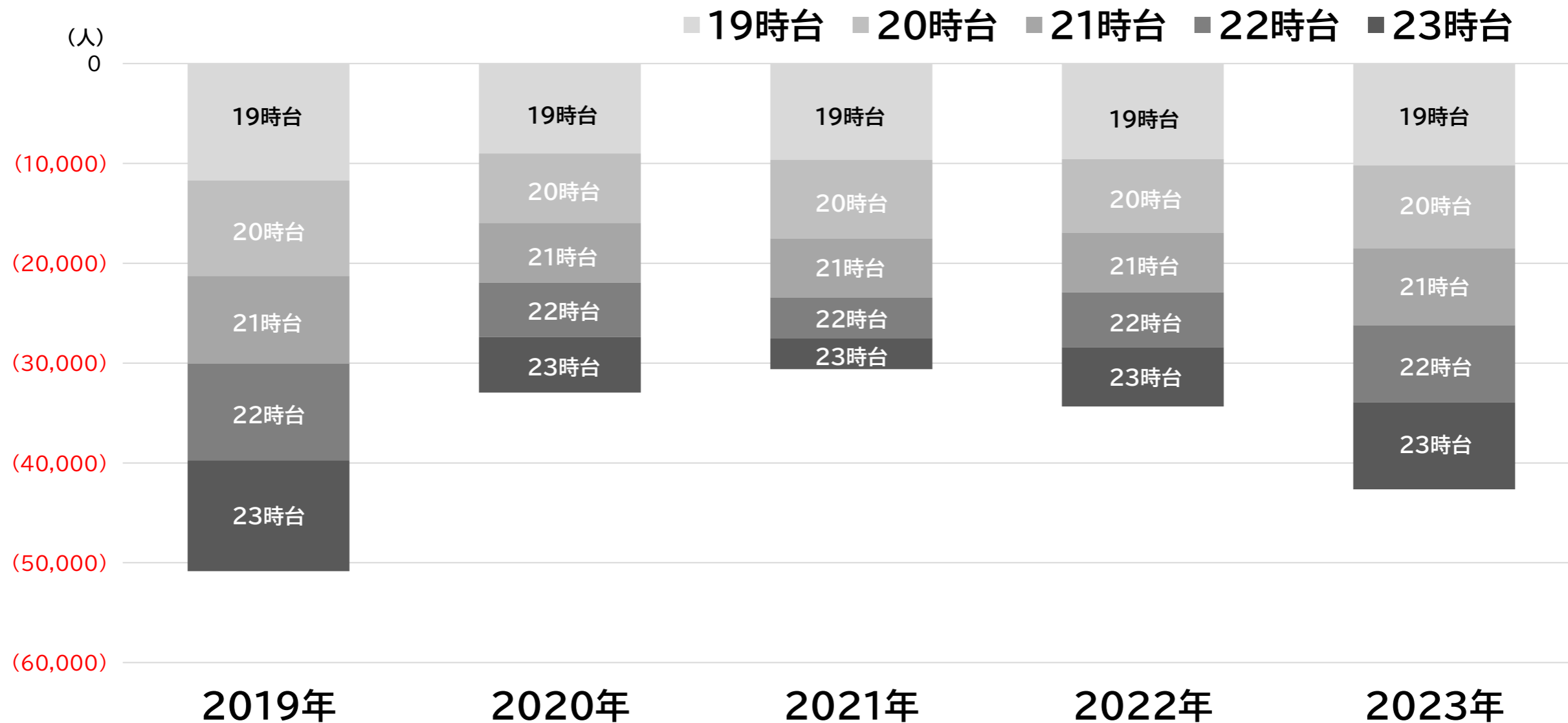
東京丸ノ内内の出勤人数・時間帯変化(平日)



データ: モバイル空間統計®・国内人口分布統計(リアルタイム版) 各年8月データ、各時間帯で増加した人口分を出勤人数とみなして集計

21年に底打ちしてリアル出社は回復へ。オフピーク通勤(早朝出勤)は依然として微風。

新橋からの帰宅人数・時間帯変化(平日)

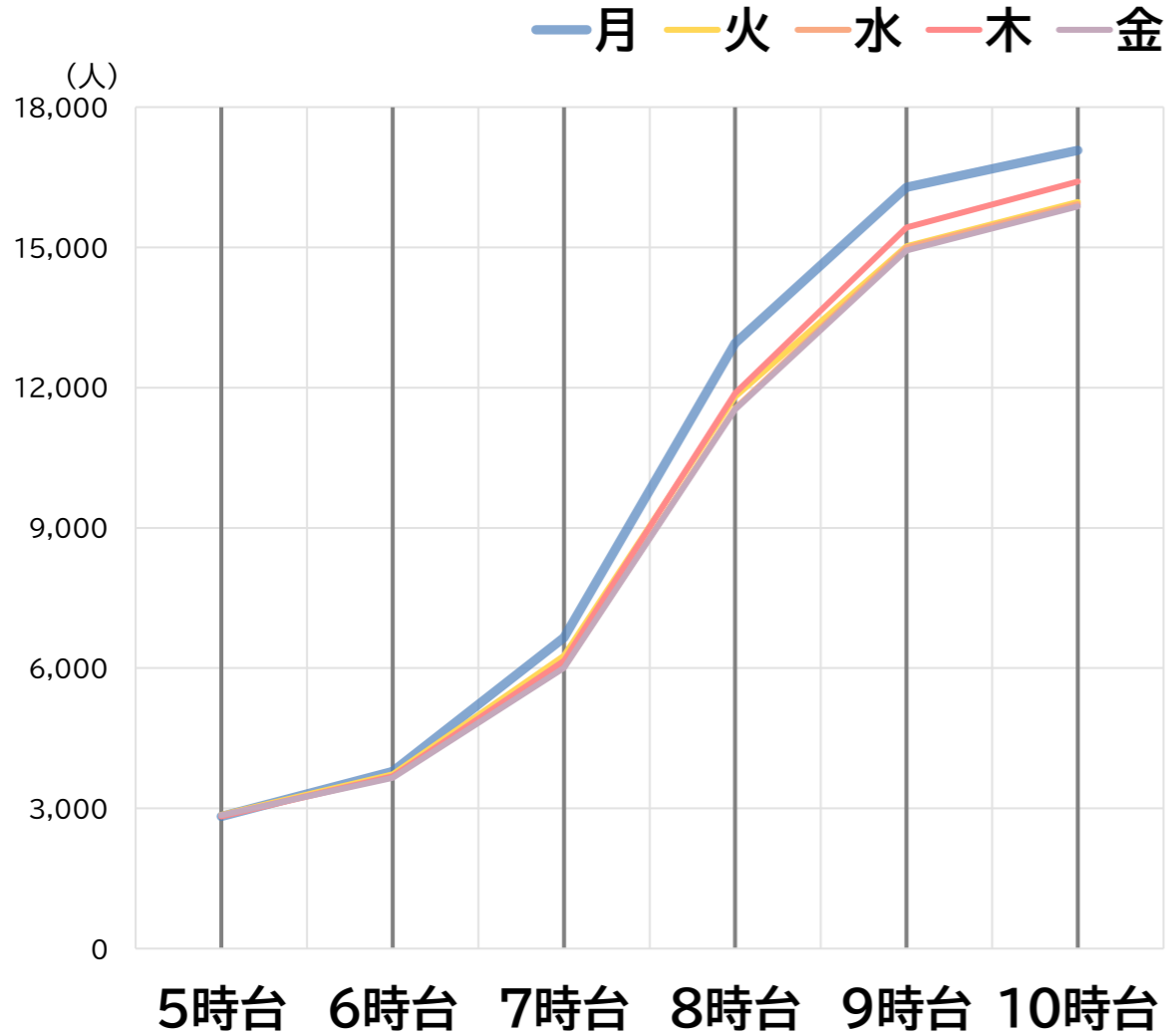


データ: モバイル空間統計®・国内人口分布統計(リアルタイム版) 各年8月データ、各時間帯で減少した人口分を帰宅人数とみなして集計

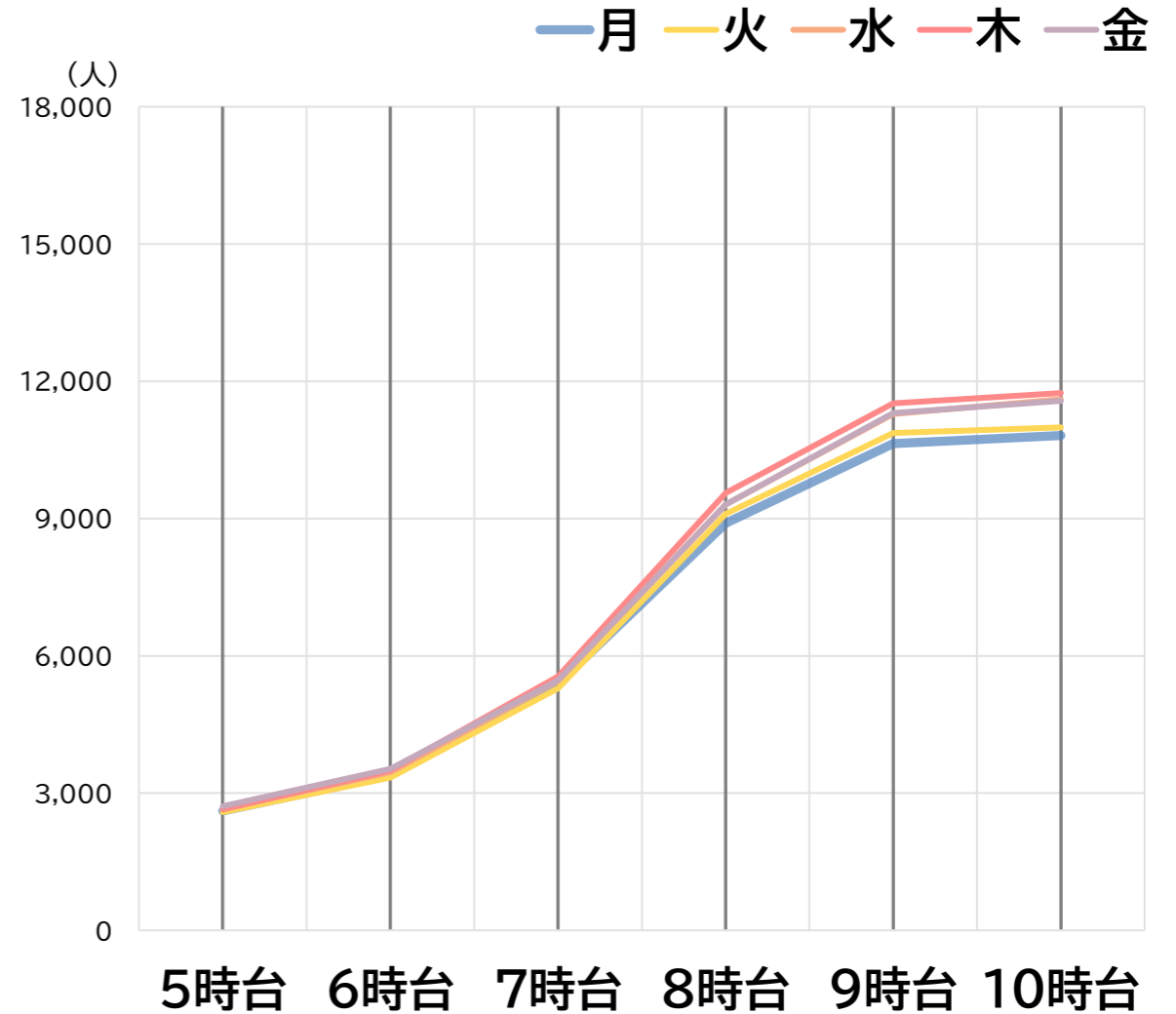
21年に底打ちして新橋は回復へ。23年は21時以降も楽しむ人が急速に増加中。

曜日別の朝の人口推移(東京 品川)

2019年8月



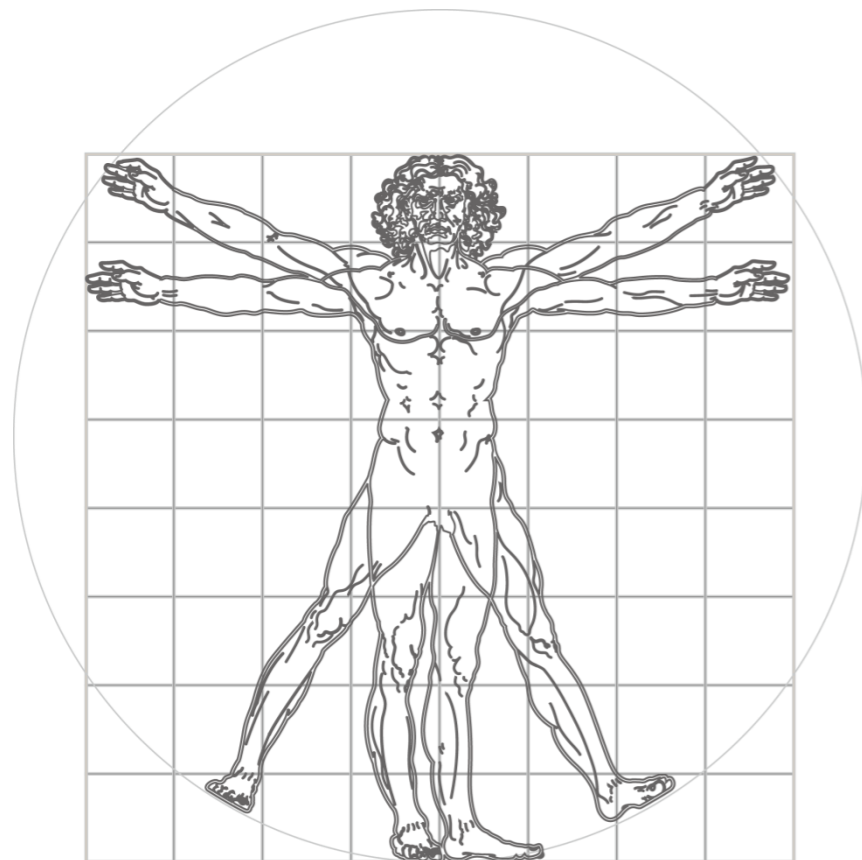
2023年8月



データ:モバイル空間統計®・国内人口分布統計(リアルタイム版)

IT企業の街 品川では月・火の出勤が減少し、週の後半(木・金)にシフト。

Understanding Humanity



Leonardo's Vitruvian Man

生活者研究センター（英語名称 Institute for Human Research）は、インテージの生活者理解の拠点として2020年8月3日に誕生しました。

長きにわたり蓄積している生活者の消費行動やメディアへの接触行動、さらには、生活意識・価値観データなど膨大な情報を連携・横断して用いるとともに、社内の各領域におけるスペシャリストの経験や知見を織り合わせるにより、生活者を深く理解し、生活者を起点とする情報を発信・提供することを目的として設立されました。

また、クライアントへの直接的な貢献を目的として、共同研究や具体的なプロジェクトへの参画などにも積極的に取り組んでいく予定です。